Housetec
Living with ideas

システムキッチン
取扱説明書

もくじ

1．部位と名称	
各部の名称	2
2．安全上のご注意	3 ～5
3．ご使用上のお願い	5 ～7
4．ご使用方法	
扉の調整方法	8
引き出しのパターン	9
引き出し前板の調整方法	9
引き出しの取り外し、取り付け方法	9 ～ 10
引き出し前板の調整方法	10
ギャラリー付引き出し前板の調整方法	10
引き出しトレーについて	10
アレンジスライドについて	11 ～ 14
アレンジスライド配管避けプレートについて	14
アレンジスライド後方落下防止部材について	15
コンロ脇小引き出し前板の調整方法	15
棚板の高さを変えるには	16
棚板の最大積載重量について	17
ロック機構付きキャビネットについて	17
スイングダウンウォールについて	18 ～ 20
引き戸ハイトール　扉の調整方法	21
家電収納フロアキャビネット・家電収納トールについて	22
ソフトスライド機能付の引き出し	23
シンク前包丁差しについて	23 ～ 24
洗剤カゴについて	24
マルチナまな板・マルチナ水切りについて	25
マルチナバスケットについて	26
5．お手入れ方法	
ステンレスシンク	27
人工大理石シンク	27
ステンレスワークトップ	27
人工大理石ワークトップ	27
メラミンカウンター・扉・キャビネット・引き出しトレー・キッチンパネル	27
排水トラップ	28
コンロキャビネット	29
6．仕様	30
7．定期的な点検	30 ～ 31
8．保障・点検・修理のご案内	31
9．お問い合わせ窓口	32
10．保証書	32

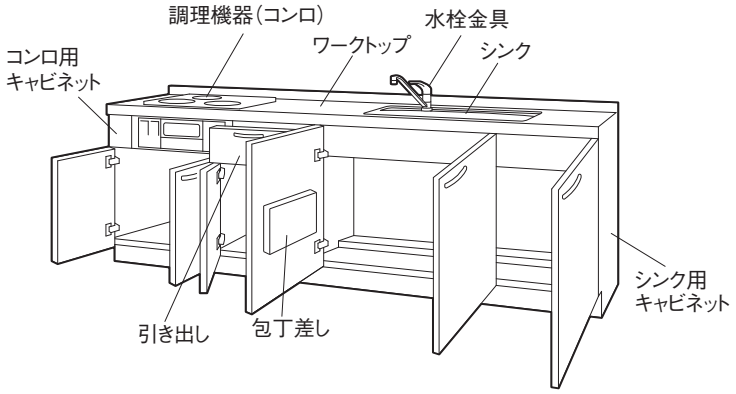
保証書在中

- このたびは、ハウステックシステムキッチンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、調理機器・オプション機器の取扱説明書とともに、大切に保管して必要なときにご参照ください。
- この取扱説明書の巻末は、保証書になっています。
  保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

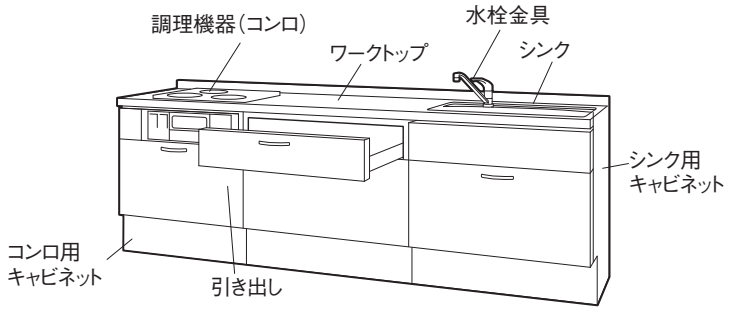
1. 部位と名称

（1）各部の名称

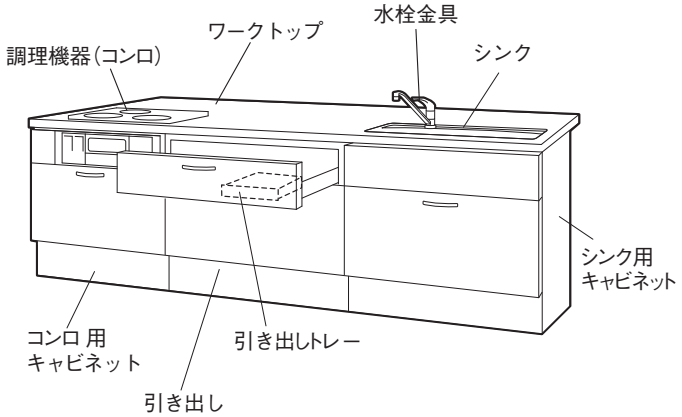
開き扉タイプ



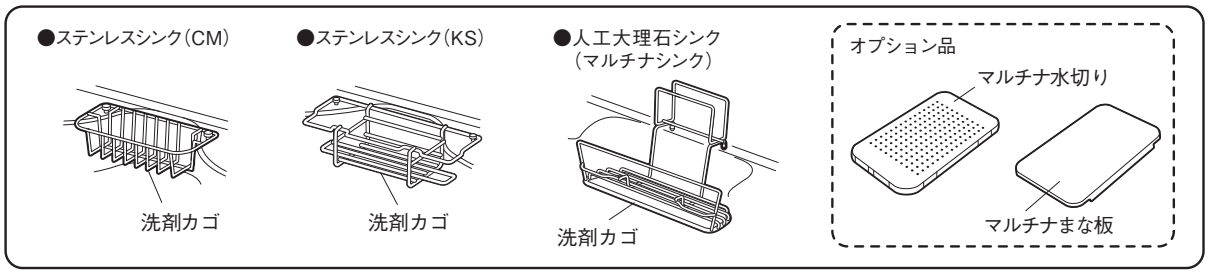
エントリースライドタイプ



ワイドカウンタータイプ



シンク付属品



2．安全上のご注意（必ずお守りください）

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

● お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

⃠	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
❗	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警　告

電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わない。
たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。

組み込まれる機器･水栓金具などについては､それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る。
使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。

調理機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない。
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になります。

調理機器の使用後やお出掛けの時はスイッチが「切」になっていることを確かめる。
周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。
感電のおそれがあります。

家電品収納庫に収納する家電製品は機器の取扱説明書にある設置基準に従ってください。
火災のおそれがあります。

レードルフックへ刃物はぶら下げない。
けがをするおそれがあります。

一度に2つ以上の引き出しを開いたままにしない。
キャビネットが引き出しの収納物の重さで倒れるおそれがあります。

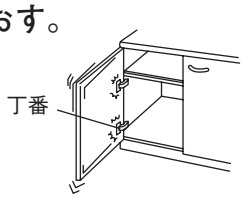
ガタついているコンセントは使わない。
火災、感電の原因となりますので、ただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

コンセントに水をかけない。
感電や火災の原因になることがあります。

2．安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注　意

扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のねじをしめなおす。



扉が落ちて、けがをするおそれがあります。
（扉の調整方法：８ページ参照）

扉や取っ手にぶらさがらない。カウンターやワークトップの上に乗らない。

扉がはずれたり、けがをするおそれがあります。

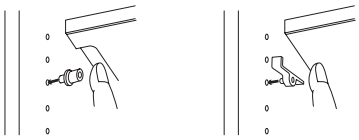
扉を大きく開けすぎない。扉を無理に強く開けたり、閉めたりしない。

扉が破損したり、はずれて、けがをするおそれがあります。

扉開閉時に、丁番にさわらない。

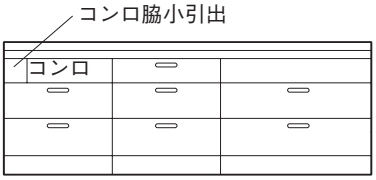
丁番に指を挟んでけがをするおそれがあります。
（特にお子様にはご注意ください。）

棚板を設置するときは、棚受を隙間のないように根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ、収納物が落下して、けがをするおそれがあります。
（棚板の高さの変え方：１６ページ参照）

コンロ脇小引き出しには２kg 以上収納しない。



引き出しがはずれて、けがをするおそれがあります。

スライド式引き出しに収納する物は、背の高さに注意する。

収納物が器具と接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。

引き出しを開閉しようとするときは、足などを引き出しと床の間に挟まないように注意する。

引き出しに挟まれて、けがをするおそれがあります。

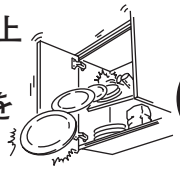
まな板はワークトップの水平面で使用する。水切りトレーをシンクに設置して、まな板をワークトップと水切りトレーにまたがって使用する際は安定する位置で使用する。

まな板がずれてけがをするおそれがあります。

固形、粉末および液体の塩素系洗浄剤・漂白剤・ぬめり取り剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になり、水漏れのおそれがあります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。

棚板の上に、最大積載量以上載せない。
※最大積載量は、17ページをご覧ください。



載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。

電気器具の電源プラグを抜く際は電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く。

コンセントや電気器具の電源コードが破損し、漏電や発火の原因になります。

2．安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注　意

引き出しの収納物は荷重が均等になるように入れる。

引き出しが破損してけがをするおそれがあります。

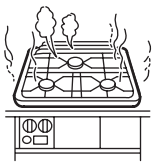
アレンジスライドはガス配管、ガス栓にあたらない位置で使用する。

ガス漏れを起こすおそれがあります。

引き出しに、最大積載量以上の収納物を収納しない。
※最大積載量は、９ページをご覧ください。

引き出しが破損･落下し､けがをするおそれがあります。

調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺には手を触れない。



やけどのおそれがあります。

設置してある調理機器以外の電気コンロ､ガスコンロなど熱源が露出する商品を使用しない。

キャビネットが過熱し、火災のおそれがあります。

ガラスパーティションやコンロスクリーンなどのガラスが熱いうちに汚れを拭いたり、水をかけたりしない。

ガラスが破損し、けがをするおそれがあります。

引き出しやスライドカウンターを引き出した状態で腰掛けたり寄りかかったり足を掛けて上に乗ったりしない。

スライドカウンターが外れて、けがのおそれがあります。

調理機器で鍋や鉄板を使う時はワークトップにはみださない。

ワークトップが過熱し、火災のおそれがあります。

自分で改造しない。

思わぬ事故の原因になることがあります。

スライドカウンターには熱い鍋､20kg 以上の重量物､包丁などを載せない。

やけど、けがのおそれがあります。

てんぷら油や熱湯を直接排水口・シンクに流さない。

シンク裏の防滴材がはがれたり、排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタツキが発生したときは､ねじをしめ直すか、販売店に連絡する。

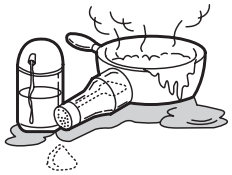
包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。

3．ご使用上のお願い

ワークトップ・シンク・カウンター

塩分や油脂分の汚れや調味料などを付着させたまま放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとサビや変色の原因となりますので、すぐに水で洗い流してください。



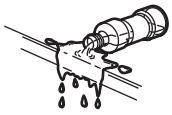
火のついたタバコを置かないでください。

タバコの火は変色の原因になります。

3．ご使用上のお願い

ワークトップ・シンク・カウンター

うがい薬（ヨード系）、シンナー、マニキュアの除光液などが付着した場合、
放置しないでください。



そのまま汚れを放置しておくと変色の原因になりますので、すぐに拭き取った後、水で洗い流してください。

硫酸・塩酸系の強酸類は絶対に使用しないでください。

ワークトップやシンクを傷めるおそれがあります。

塩素系漂白剤や酸素系洗浄剤はうすめて使用し、長時間放置しないでください。
使用後は水で十分に流してください。

お手入れは水を十分に含ませたやわらかい布かやわらかいスポンジで
台所用中性洗剤を使用してください。

変色したり、乾いた布やかたい布、研磨剤入りのスポンジ等でこすると傷がつくおそれがあります。

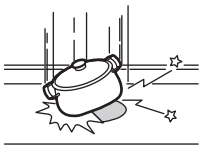
ぬれた包丁や缶詰など鉄製のものを放置しないでください。

鉄製のものは水分があるとすぐサビます。そのサビがもらいサビ及び変色の原因となります。

ワークトップやシンクの上で直接包丁を使わないでください。

傷がつくおそれがありますので、必ずまな板をご使用ください。

ワークトップやシンクの上に乗ったり、包丁や鋭利なものをあてたり、鍋や
フライパンなど硬い物を落としたり、重い物を引きずらないでください。



ワークトップやシンクが変形したり、傷がつくおそれがあります。

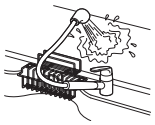
Ｌ形人工大理石トップの接合部分に乗ったり、重い物を乗せないでください。

接合部分が割れることがあります。

シンク内に氷やドライアイスを長時間放置しないでください。

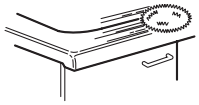
シンク裏面に結露が発生し、キャビネット庫内をぬらすおそれがあります。

ワークトップに水をかけないでください。



水が流れ落ちて扉や床がぬれてくさるおそれがあります。

金属タワシや、粒子の粗いクレンザーでこすると傷が付きます。



食器や土鍋など硬いものでこすられた場合、傷が付きます。

人工大理石にコゲ取り材(塩化メチレン系)は使用しないでください。

付着した場合、表面が変色することがあります。

ワークトップ（人工大理石およびステンレス）やシンクの上に
直接熱いフライパンや鍋などを置かないでください。

ひび割れ、変色、ふくれや裏面補強材が劣化するおそれがあります。必ず鍋敷き等をお使いください。

人工大理石は直射日光に当てないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

3．ご使用上のお願い

ワークトップ・シンク・カウンター

水滴が残っていると水垢の原因になります。

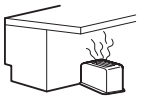
時間がたつと水垢がとれなくなるおそれがあります。

周辺収納用フロアキャビネット・家電収納フロアキャビネットのカウンターの上に30kgをこえるものを置かないでください。

カウンターが変形し、破損するおそれがあります。

ワイドカウンターの下にヒーターを置かないでください。

ヒーターの熱でワークトップが変形するおそれがあります。



扉・キャビネット・引出し

火気を近付けないでください。

そりの原因になるばかりか、火災の原因となるおそれがあります。

直接日光をあてないでください。

そりや変色の原因となるおそれがあります。長期間ご使用いただくと直射日光などの影響で色合いが変わることがあります。

お手入れに台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけたスポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして仕上げてください。

放置すると変色・変質することがあります。

引き出し・扉・食器洗い乾燥機を開ける時は、左右または上下に隣接する引出しを閉めてから開けてください。

扉と引き出しがぶつかり、傷や破損の原因になります。

扉・キャビネット・エンドパネルに水がかかったら、乾いた布で拭き取ってください。

扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

キャビネットなどに油が付着したら乾いた布でふき取ってください。

放置すると染みになることがあります。

吸盤を扉に取り付けないでください。

扉が変色または、細かなヒビ割れが発生することがあります。

周辺収納用フロアキャビネット上の吊戸棚に炊飯器などの蒸気が掛からないようにしてください。蒸気が掛かった場合は、乾いた布でふき取ってください。

扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

ぬれた手で扉や引き出しの開閉を行わないでください。

扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

ゴミ箱ワゴン、チェアワゴンにはキャスターが付いていますので床材によっては傷が付いたり、キャスターの樹脂が削れて床につくことがあります。気になる場合は樹脂マットなどを敷いてください。

排水トラップ・シンク

排水の流れが悪くなったら、バスケットを点検してください。

排水プレートを外して、野菜くずなどが詰まっていたら取り除いてください。

⚠ 注　意

● **てんぷら油や熱湯を直接排水口・シンクに流さない。**

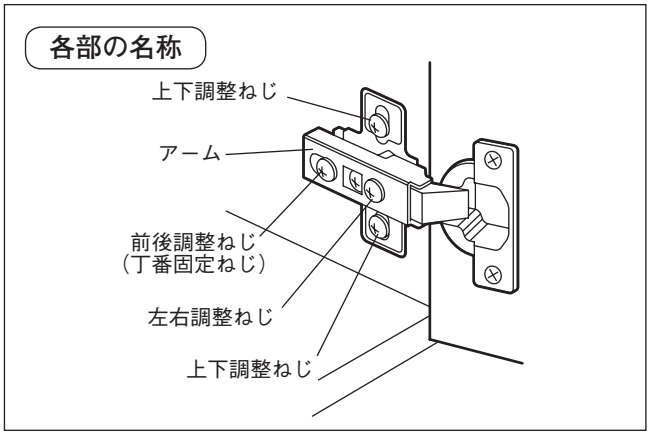
排水器具などが変形し、水漏れやシンク裏面の防滴材のハガレの原因になることがあります。

人工大理石シンクの排水プレートは強い衝撃を与えないでください。われるおそれがあります。

米ぬかや動物性油を多量に排水に流さないでください。排水ホースや排水管が詰まり、流れが悪くなったり、ホース内の異物により臭気が発生する場合があります。

扉の調整方法

● 扉の調整は丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して
以下の要領で行ってください。



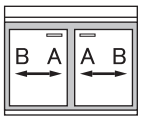
⚠ 注　意

● ゆるめた調整ねじは、調整後に
しっかり締め付ける。

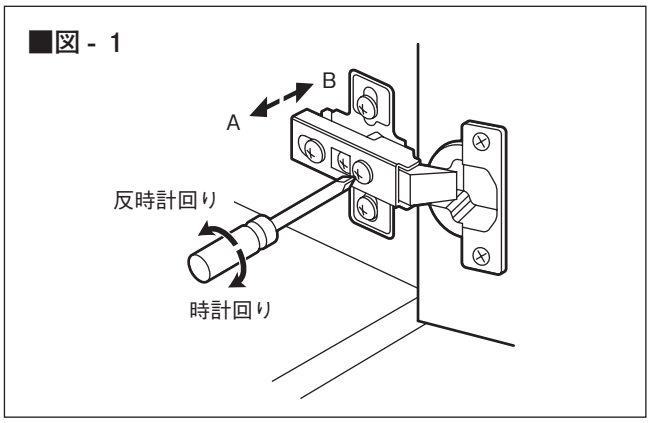
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

左右・傾きの調整方法（図－１）

左右調整ねじを回すことで調整が
行えます。
左右調整ねじを時計回りに回すと
扉がＢ方向に動き、反時計回りに
回すと扉がＡ方向に動きます。

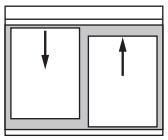


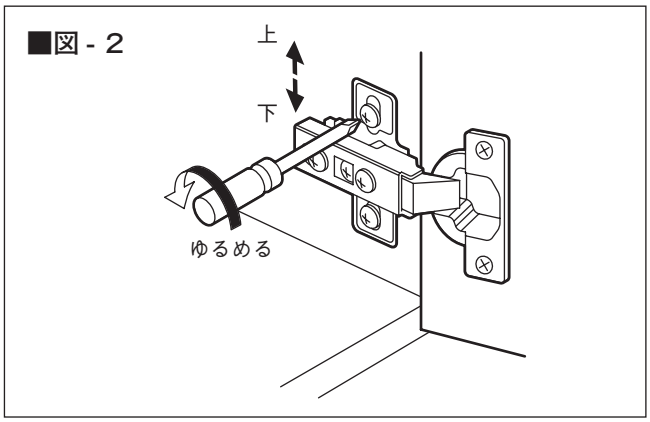
※調整は必ず±２ｍｍまでとして
ください。



上下の調整方法（図－２）

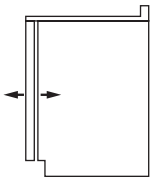
２ヶ所の上下調整ねじをゆるめます。
扉を上下に動かして、扉の調整をします。
調整後はねじをしっかり締め付けてください。

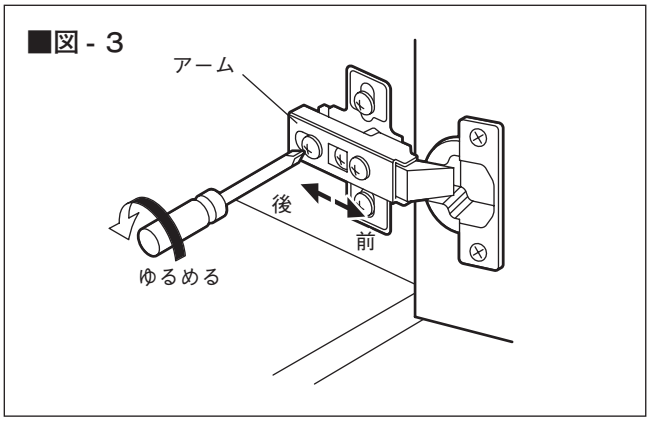




前後の調整方法（図－３）

前後調整ねじをゆるめます。
アームを前後に動かして、扉の調整をします。
調整後はねじをしっかり締め付けてください。



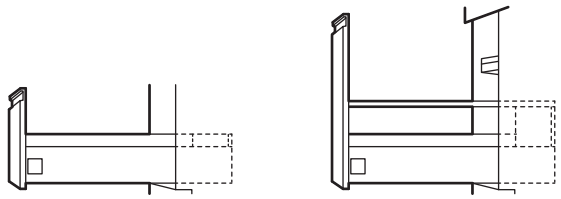


4．ご使用方法

引き出しのパターン

● 引き出しは右記最大積載量までの収納が可能です。

● 引き出しは扉の取っ手部を持って、やさしく開閉してください。
取っ手を持たずに開閉すると、引き出しに指などを挟み、けがをするおそれがあります。



シンプルスライドタイプ/ソフトスライドタイプ
最大積載量：12 kg

引き出し前板の調整方法

引き出し前板の調整は、各タイプの調整方法に従って調整を行ってください。

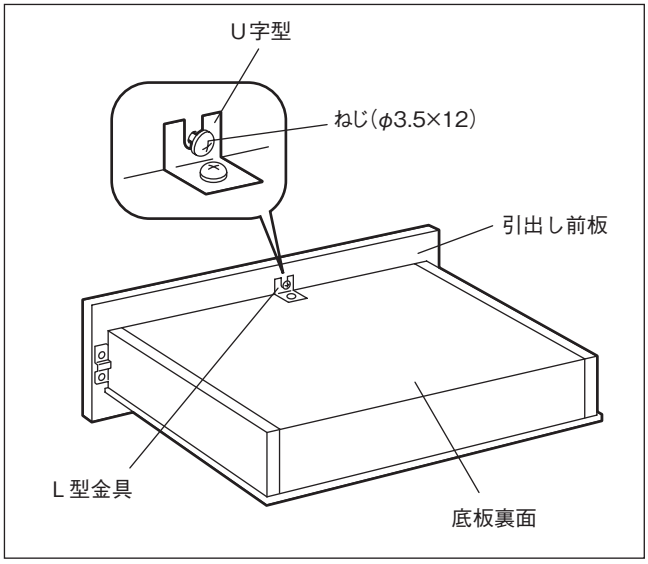
間口 60cm 以上の場合

引き出し前板を調整する前に、引き出し底板に取り付けてあるねじ（右図）をゆるめてから前板の調整を行ってください。

※ 調整方法は 10 ページ参照

調整後は、ねじを締め付けてください

※ねじを締め付けないと、引き出し内の重さにより底板が下がりL型金具で下段扉やトッテを傷付けたり、引き出しが破損するおそれがあります。

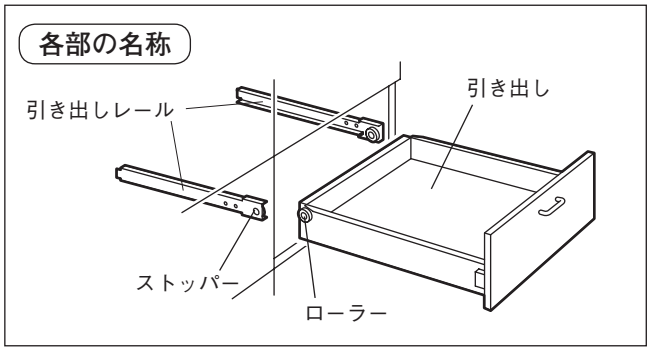


引き出しの取り外し、取り付け方法

● 引き出しの取り外し、取り付けをする際は以下の要領で行ってください。

取り外し方法（図－1）

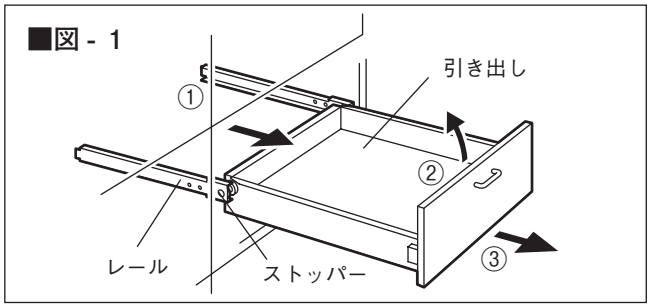
① 引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
② ストッパーに当たりましたら、引き出しを上に持ち上げます。
③ 引き出しを手前に引き出します。



⚠ 注　意

● 取り外す際には引き出し内の収納物をすべて出し、必ず引き出しに両手を添えて取り外す。

引き出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

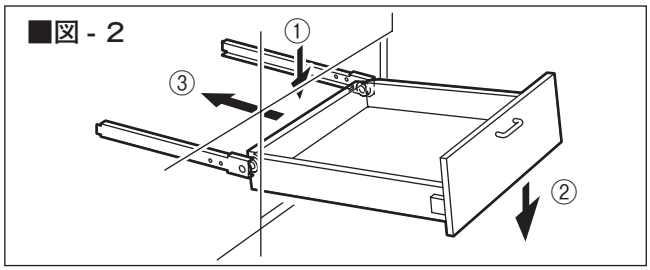


4．ご使用方法

引き出しの取り外し、取り付け方法

取り付け方法（図－２）

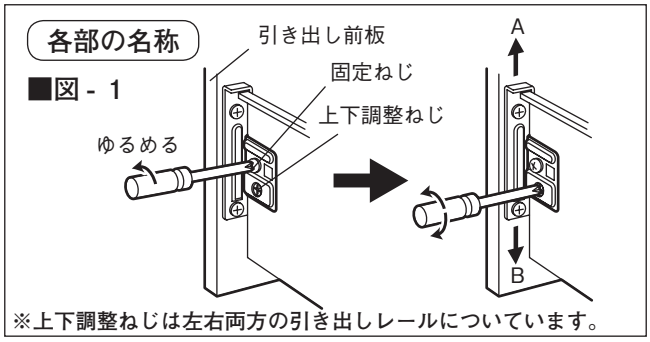
① 引き出しを両手で持ち、ローラーを引き出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
② ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
③ 水平に押し込みます。



引き出し前板の調整方法

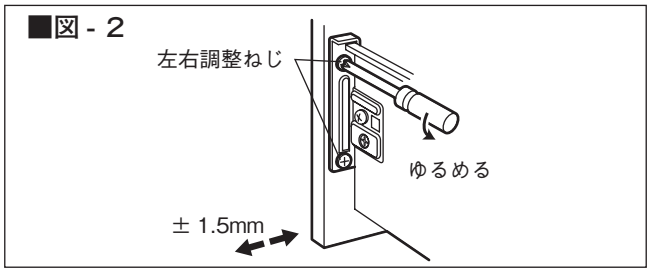
上下の調整方法（図－１）

① 固定ねじをゆるめます。
② 上下調整ねじを時計回りに回すと引き出し前板がＢ方向に動き、反時計回りに回すと引き出し前板がＡ方向に動きます。
③ 調整後は固定ねじをしっかり締め付けてください。



左右の調整方法（図－２）

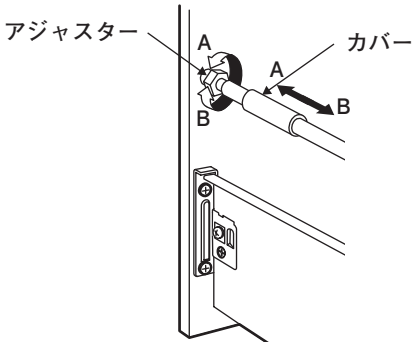
① 左右両方の左右調整ねじをゆるめ、前板を左右に調整してください。
② 調整後は、左右調整ねじをしっかり締め付けてください。



ギャラリー付引き出しの調整方法

前後調整をする場合

カバーを矢印の方向へずらして、アジャスターを回すと前板を前後に調整できます。調整後カバーを元の位置に戻してください。



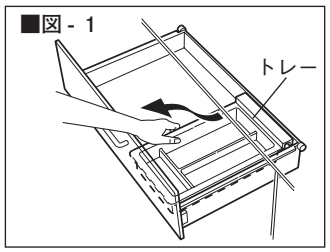
引き出しトレーについて（オプション）

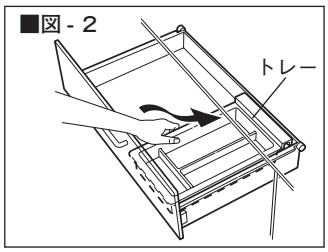
取り外し方法（図－１）

① トレーを上に持ちあげて取り外してください。

取り付け方法（図－２）

① トレーを右図のように設置してください。



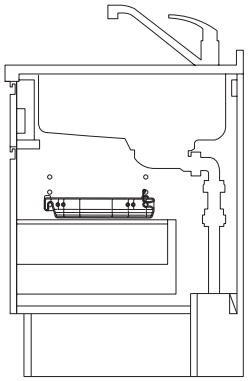


アレンジスライドについて

●シンク用キャビネットの場合

シンク用キャビネットは上下に３段階取付位置を選べます。
（ワークトップの高さ 85cm の場合）

アレンジスライドの脱着に関しては、アレンジスライドの取り外し方法（12ページ）、アレンジスライドの設置方法（13 ページ）に従って行ってください。



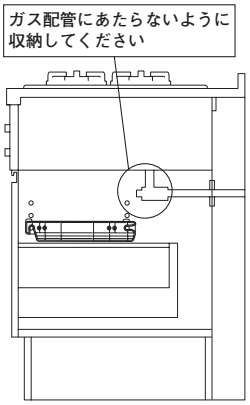
シンク用キャビネット
（上下３段階）

●コンロ用キャビネットの場合

コンロ用キャビネットは上下に３段階取付位置を選べます。
（ワークトップの高さ 85cm の場合）

アレンジスライドの脱着に関しては、アレンジスライドの取り外し方法（12 ページ）、アレンジスライドの設置方法（13 ページ）に従って行ってください。

アレンジスライドを一番上の段で脱着をする場合は、アレンジスライドの取り外し方法･コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（12 ページ）、アレンジスライドの設置方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（13 ページ）に従って行って下さい。



コンロ用キャビネット
（上下３段階）

⚠ 注　意

- 収納物がガス配管、ガス栓にあたらないように収納する。
- アレンジスライドはガス配管、ガス栓にあたらない位置に取付ける。

収納物やアレンジスライドとガス配管、ガス栓が干渉し、ガス漏れを起こすおそれがあります。

●調理台キャビネットの場合

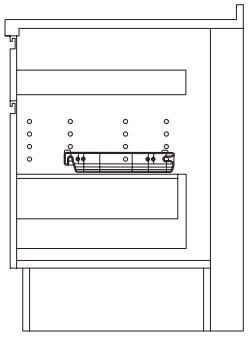
調理台キャビネットは上下に４段階と前後方向に取付位置を選べます。
（ワークトップの高さ 85cm の場合）

アレンジスライドの脱着に関しては、アレンジスライドの取り外し方法（12 ページ）、アレンジスライドの設置方法（13 ページ）に従って行ってください。

アレンジスライドを一番上の段に取り付ける場合は、落下防止部材は取り付けられません。

落下防止部材の取り外し方（15 ページ）に従って取り外し、脱着方法に関しては、アレンジスライドの取り外し方法･コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（12 ページ）、アレンジスライドの設置方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（13 ページ）に従って行って下さい。

前後方向への取付位置を変える場合は、前後方向の棚受け穴の組み合わせ（14 ページ）に従って棚受けを移動してください。



調理台キャビネット
（上下４段階＋前後２段階）

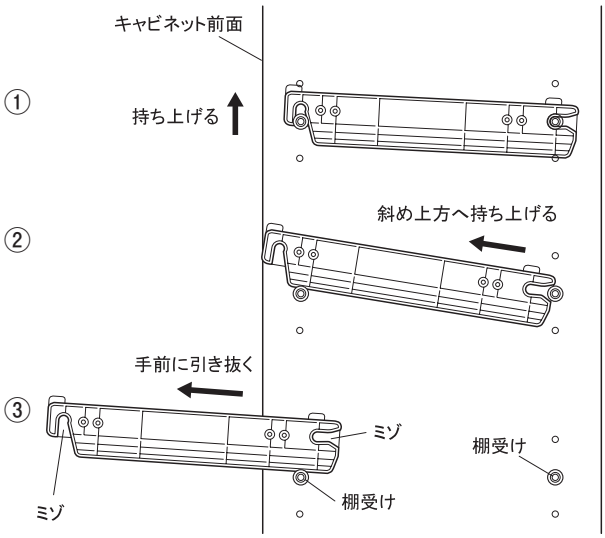
アレンジスライドについて

アレンジスライドの取付位置を変えるには

アレンジスライドの取付位置を変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さのみしか変えられない機種もあります。

●アレンジスライドの取り外し方法（図－１）

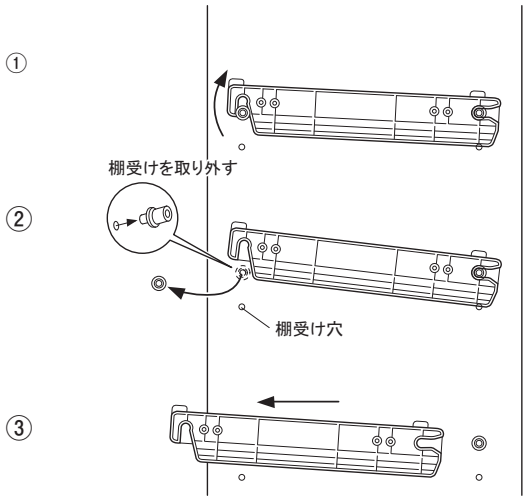
① アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
② アレンジスライドを手前斜め上方へ持ち上げて後方の溝を棚受けから外してください。
③ アレンジスライドを手前方向へ引き抜き、取り外します。



図－１

●アレンジスライドの取り外し方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（図－２）

① アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
② アレンジスライド手前を上方向へ持ち上げた状態で手前の棚受けを棚受け穴から取り外してください。
③ アレンジスライドを手前方向へ引き抜き、取り外します。



図－２

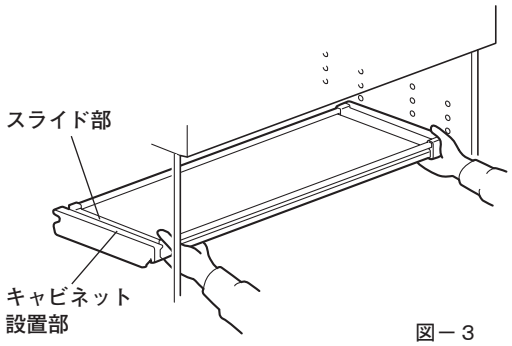
⚠ 注　意

●アレンジスライドの高さを変える際には、パレット収納部の引き出しを外し、パレット上の収納物をすべて降ろしてから行うこと。

引き出し部に手をぶつけたり、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

●アレンジスライドを外す際には、図－３のように手前側から両手で、スライド部とキャビネット設置部両側に手が掛かるように持つこと。

パレットがスライドしてぶつかったり、手をはさんでけがをするおそれがあります。
各部の名称 15 ページを参照。

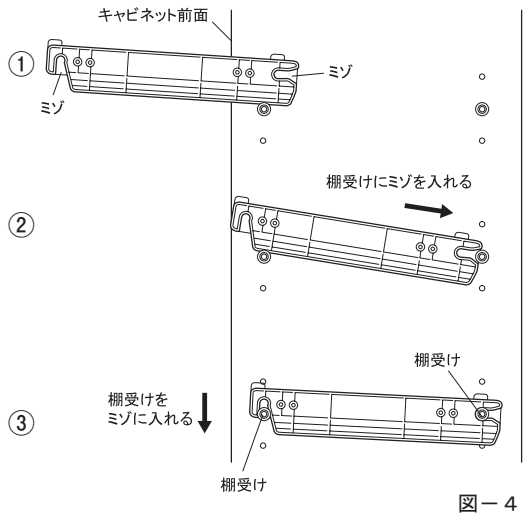


図－３

アレンジスライドについて

●アレンジスライドの設置方法（図－４）

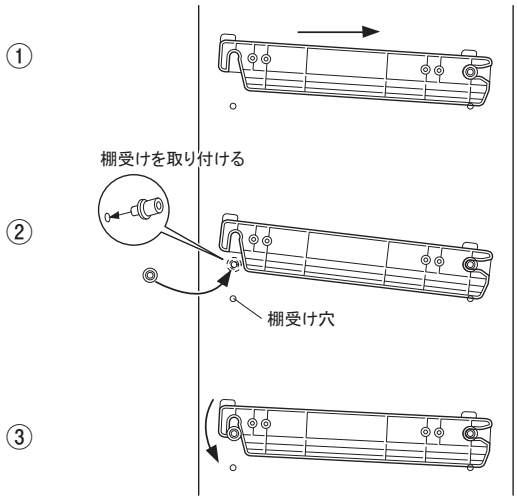
① 前方の棚受けにアレンジスライド後方部を乗せ、キャビネット後方に滑らせてください。
② アレンジスライド後方の溝に棚受けを挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
③ アレンジスライド前方の溝に棚受けをカチッいう感覚があるまで軽く押し下げてください。



図－４

●アレンジスライド設置方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（図－５）

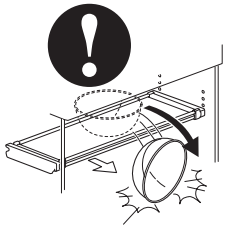
① 前方の棚受けを棚受け穴から取り外してください。後方の棚受けをアレンジスライド後方の溝に挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
② アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて①で外した棚受けをキャビネットの棚受け穴に取り付けてください。
③ アレンジスライド前方をカチッいう感覚があるまで軽く押し下げてください。



図－５

⚠ 注　意

● アレンジスライドを出し入れする際は、ゆっくり行う。



載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。

● アレンジスライドに、10kg以上の物を載せない。アレンジスライドに、乗ったり、もたれかかったりしない。

けがのおそれがあります。

● 収納物がガス配管、ガス栓や排水管にあたらないように収納する。

収納物とガス配管や排水管が引っかかり、配管が破損しガス漏れや水漏れするおそれがあります。

お　願　い

● ガスコンロの機種によってはアレンジスライドはご使用できません。

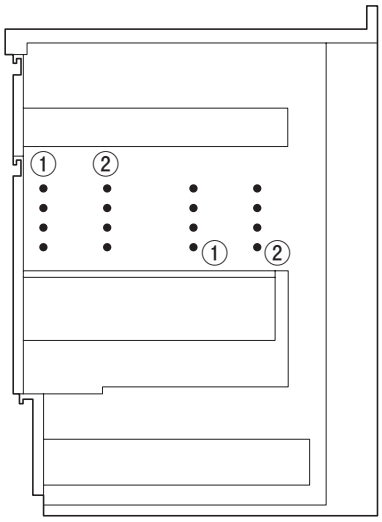
収納物とガスの配管が干渉し、ガス漏れを起こすおそれがあります。

アレンジスライドについて

前後方向の棚受け穴組み合わせ

●前後２段階に調節できます

１列目への取り付け…①の組み合わせ
２列目への取り付け…②の組み合わせ

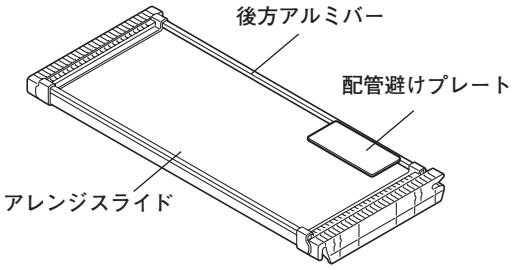


アレンジスライドの後方の溝に棚受けを挿入したあと、アレンジスライド前方の溝に棚受けが確実に入らない場合や、アレンジスライド前方が棚受けから外れてしまう場合は、前後の棚受け穴の組み合わせが誤っている可能性があります。
上記の組み合わせ図を参照し、前後の棚受け穴の組み合わせをご確認ください。高さ方向の調節はワークトップ高さ85cmの場合で説明しています。

アレンジスライド配管避けプレートについて

●ガスコンロをご使用の場合

配管避けプレートは、右図のように予めアレンジスライドに取り付けてありますので、剥がさずにそのままご使用ください。



● IH クッキングヒーターをご使用の場合

配管避けプレートの取り付けは不要です。付属の取付説明書と一緒に無くさないように保管ください。

● IH クッキングヒーターをガスコンロに交換する場合

リフォーム等で加熱調理機器を IH クッキングヒーターからガスコンロへ交換する場合は、付属の取付説明書をよくお読みの上で、配管避けプレートをアレンジスライドに取り付けてください。

⚠ 注　意

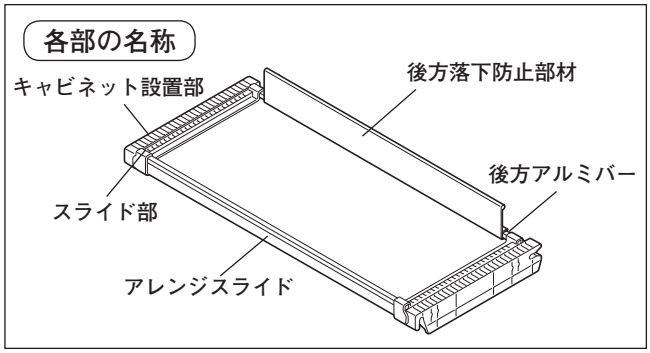
● アレンジスライドに収納物を載せる際、このプレート面への積載及び、プレート面上方へはみ出すような積載はしない。

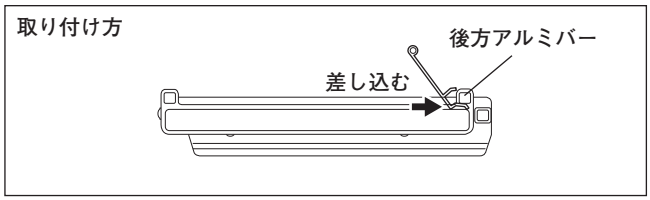
アレンジスライド収納時に、収納物と周囲の配管が接触し、配管の破損によるガス漏れ、漏水のおそれがあります。

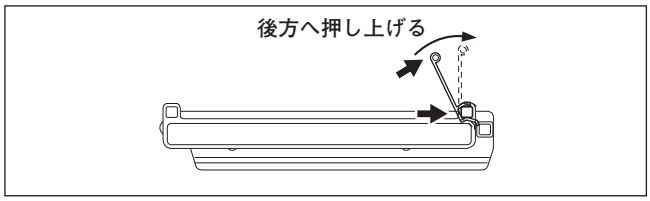
アレンジスライド後方落下防止部材について

落下防止部材の取り付け方

① アレンジスライド前方から、落下防止部材の下端部をパレット上面と後方アルミバーの間に差し込んでください。
② 落下防止部材の根本をしっかりとアルミバーに押し当てながら、アルミバーを軸として回転させるようにして上端部をアレンジスライド後方へ向かって押し上げて落下防止部材を固定して下さい。



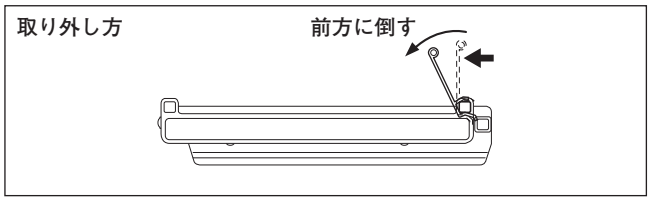


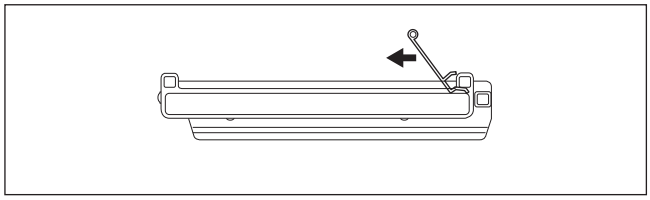


落下防止部材の取り外し方

① アレンジスライド取り外し方法に従って、アレンジスライドをキャビネットから取り外してください。
② 落下防止部材の上端部に、アレンジスライドの後方側から力を加え、後方アルミバーを軸として回転させるように落下防止部材を前方に倒してください。
③ 落下防止部材の根本をアレンジスライド前方側へ引き抜いてください。

● アレンジスライドを最上段に設置して使用する場合はシンク配管及び上段引出しに干渉してしまいますので、落下防止部材をアレンジスライドから取り外してください。



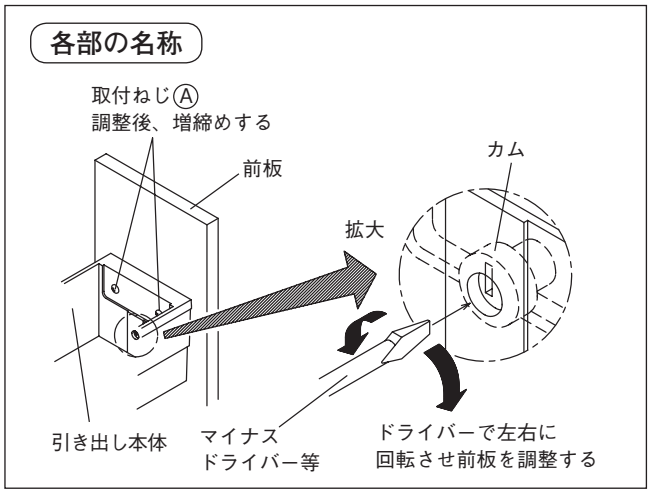


コンロ脇小引き出し前板の調整方法

前板を片手で押さえながら、引き出し本体と前板を締めている取付ねじⒶ（２ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ねじを軽く締めます。

必要な場合、引き出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。

調整が完了したら、ねじを増締めしてください。



棚板の高さを変えるには

● 棚板の高さを変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

お　願　い

● 棚板の高さを変える場合はキャビネット内部に傷を付けない様に注意して行ってください。

棚受けタイプの確認

棚受けには２種類のタイプがあります。棚受けの形状を確認の上、以下の作業を行ってください。

棚板の取り外し

◆Aタイプの場合
棚板を上方向に持ち上げて、取り外してください。その後、左右で計４ヶ所の棚受けを矢印の方向に引き抜いてください。（図１－A）

◆Bタイプの場合
棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。その後、左右で計４ヶ所の棚受けを矢印の方向に引き抜いてください。（図１－B）

棚板の取り付け

◆Aタイプの場合
左右で計４ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、棚板を載せてください。（図２－A）

◆Bタイプの場合
左右で計４ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、キャビネット奥側に取り付けた棚受けのツメに棚板を押し込んだ後、手前側の棚受けで棚板を挟み込んでください。（図２－B）

⚠ 注　意

● 棚板の高さを変える際には、棚板上だけでなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。

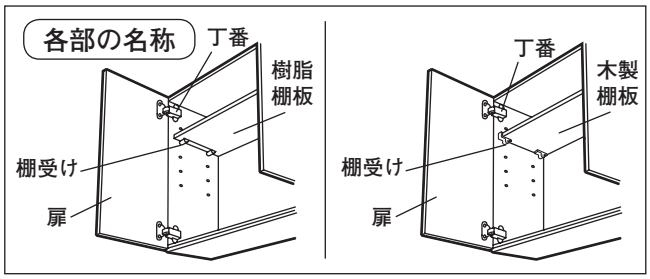
収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

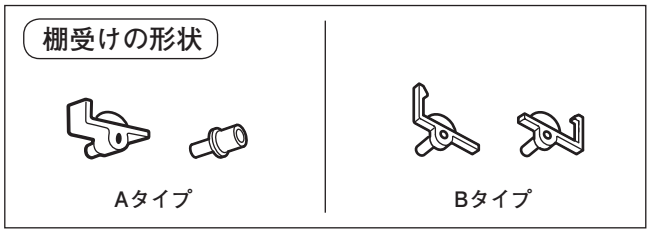
● 棚板端のミゾよりも少し内側に手を添えて持ち上げる。

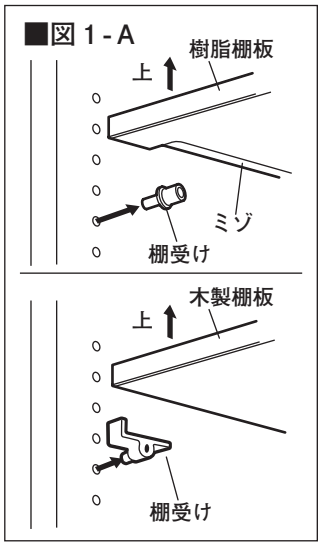
棚板と棚受けの間に手がはさまって、けがをするおそれがあります。

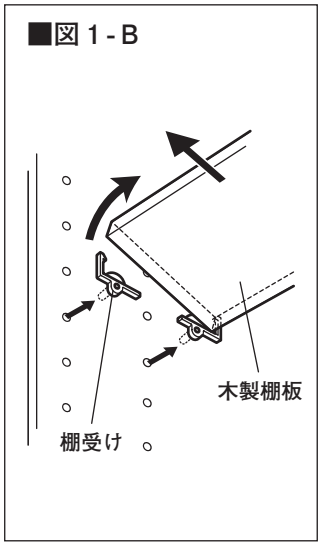
● 棚受けは、４ヶ所同じ高さにセットする。

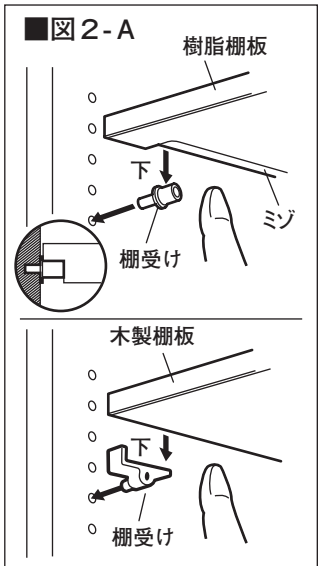
棚板が安定せず、外れて上の収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



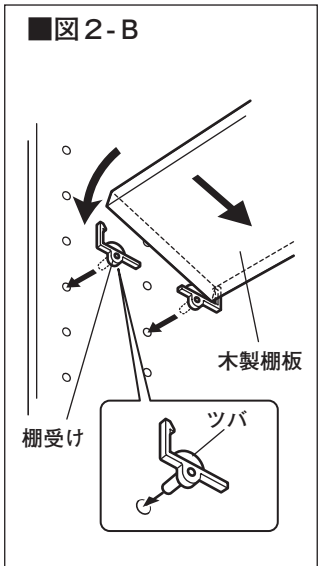








棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。



棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

4．ご使用方法

棚板の最大積載重量について

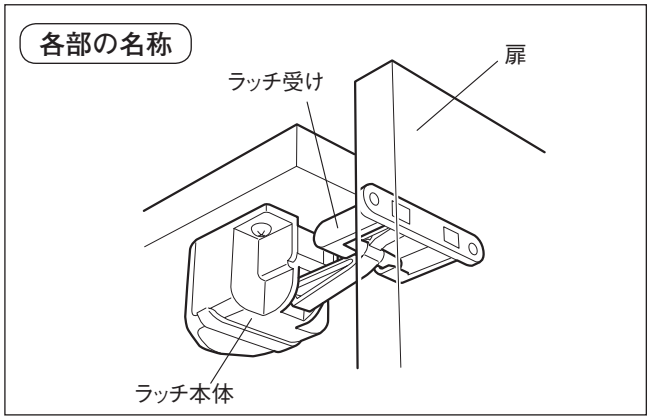
●棚板の仕様により、棚板1枚につきそれぞれ右表の重量まで収納ができます。
種類によりますが、直径20cm程度の皿（約500g）を目安としてください。

フロアキャビネット	共通	20kg
吊戸棚	共通	20kg
周辺収納用キャビネットおよびオープンキッチンのリビング側収納	家電収納トール用	10kg
	ワイドカウンター用	8kg
	上記以外の棚板	20kg

ロック機構付きキャビネットについて（オプション）

地震などの揺れを感知して扉を自動的にロックし、収納物の飛び出しを防ぎます。

※ 設置状態、収納物、振動の状況等によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

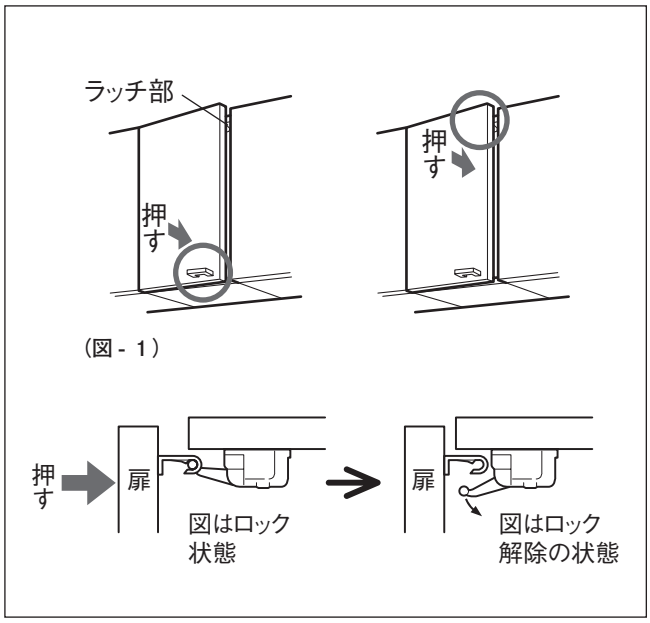


ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。（図 - 1）

※解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

●地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
●一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。
設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



⚠ 注　意

● ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が、有効に働かなくなるおそれがあります。

● キャビネットに収納物をのせすぎない。

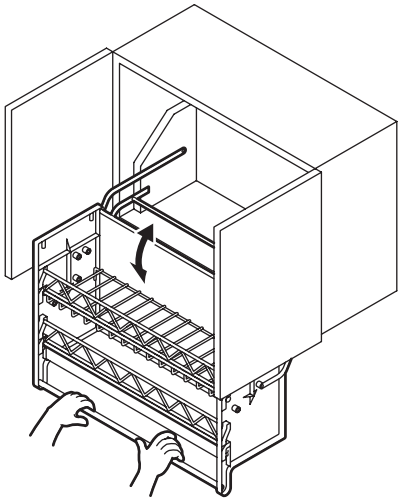
キャビネットが変形しロック機構が作動し扉が開かなるなくなるおそれがあります。

スイングダウンウォールについて

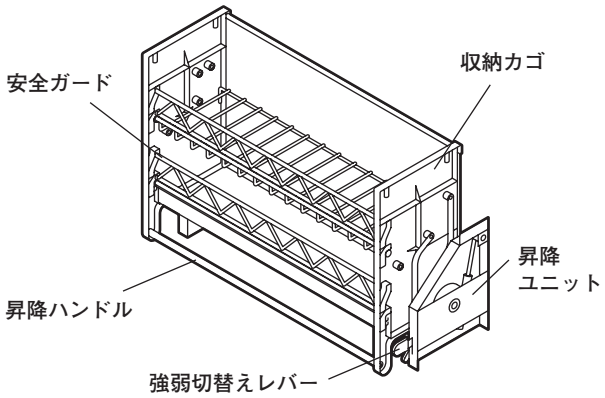
使用方法

収納カゴの昇降方法

● 扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持って
ゆっくりと出し入れしてください。

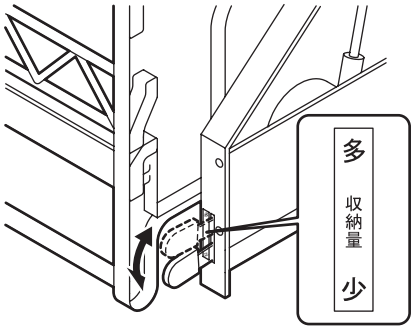


収納カゴ各部の名称



収納量による強弱切替えレバーの操作

● 右の表を目安に強弱切替レバーを収納量に応じて
調節し、適切な範囲で使用してください。
また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を
確認して必要があれば調節してください。



収納重量 / レバー	左レバー	右レバー
約 0 ～ 5 kg	少	少
約 4 ～ 9 kg	少	多
	多	少
約 10 ～ 15 kg	多	多

● 衝撃が無く、下まで降下する状態がそのレバー
設定の目安です。
● 収納カゴがおさまっている時に、レバーの切替
をしてください。
（収納カゴが下がっている時には、レバーは
切替えできません。）

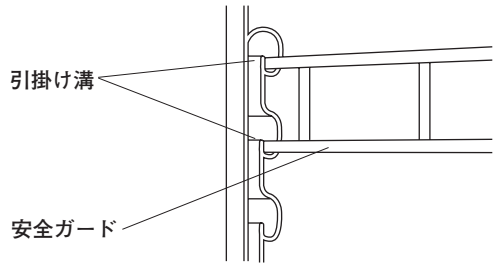
安全ガードの移動方法

安全ガードを両手で持ち､上下に移動させて
ください。安全ガードの両端は確実に、
引掛け溝に入れてください。

⚠ 注　意

● 収納物の落下防止のため、
必ず安全ガードをかける。

棚板が安定せず、外れて上の収納物が
落下して、けがをするおそれがあります。

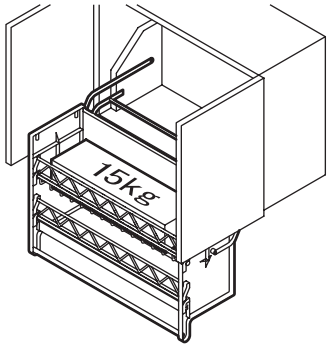


スイングダウンウォールについて

※スイングダウンウォールをご使用の際に次のことに注意してください。

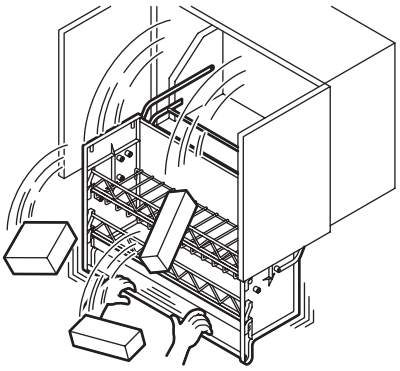
⚠ 注　意

● スイングダウンウォールの収納カゴには、15 kg以上載せない。
（直径 20cm 程度の皿（約 500 g）30 枚までを目安としてください。
但し、皿の材質、形状により異なります。）



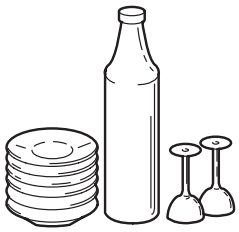
スイングダウンウォールが壊れ、収納物が飛び出してくることによりけがをする危険があります。

● スイングダウンウォールの収納カゴの操作は、ゆっくりと行う。



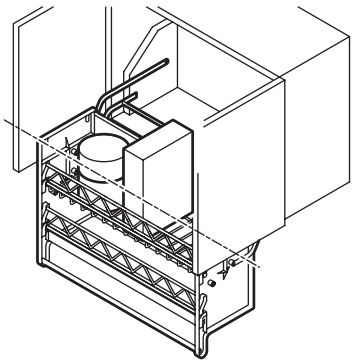
故障の原因や収納物が落ちてけがをする危険があります。

● ビンなどの不安定なものや、すべりやすいものは収納しない。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が落ち、けがをする危険があります。

● 収納物が、収納カゴ側板の高さより上へ出たり、収納カゴの底面、背面のすきまからズレださないように収納する。



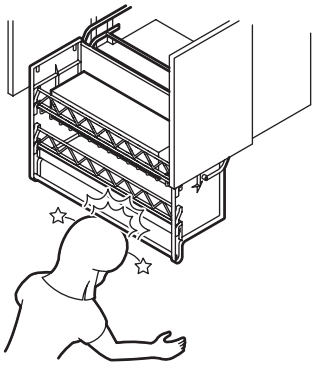
収納カゴを上げ下げした際、収納物が吊戸棚本体に当たることにより収納物が飛び出し、けがをする危険があります。

スイングダウンウォールについて

※スイングダウンウォールをご使用の際に次のことに注意してください。

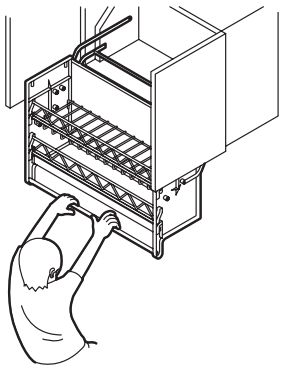
⚠ 注　意

● 調理作業時に収納カゴを降ろしたまま放置しない。



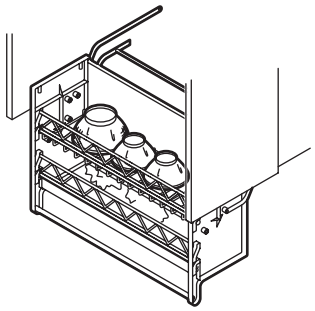
収納カゴに頭などをぶつけ、けがをする危険があります。

● スイングダウンウォールの昇降ハンドルにぶらさがらない。



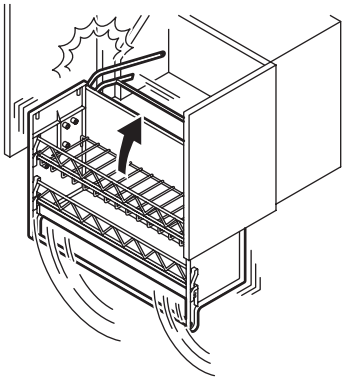
スイングダウンウォールや、収納物が落ちてけがをする危険があります。

● スイングダウンウォールの収納カゴにぬれたものを収納しない。



スイングダウンウォール機器にサビが発生して故障の原因になります。

● 強弱切替えレバーは収納重量に対して適切にセットする。



無積載の時、レバーを（多・多）にしないでください。
収納カゴが勢いよく戻ります。

15 kg積載時レバーを（少・少）にしないでください。
収納カゴが急降下してけがをするおそれがあります。

引き戸ハイトール　扉の調整方法

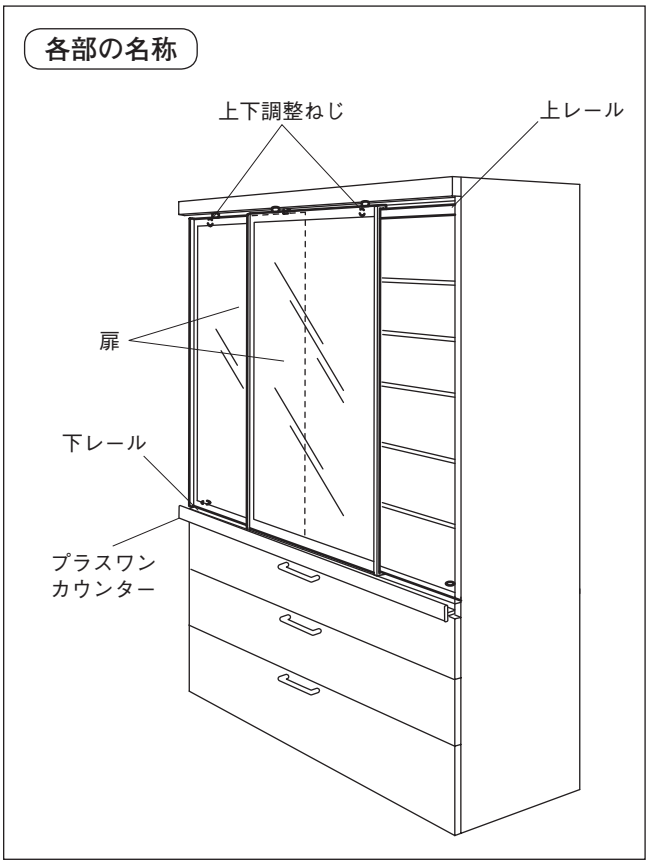
● 扉の上下・傾きの調整をする際は、以下の要領で行ってください。

扉取付及び調整後の確認ポイント ── ①開閉時に扉がスムーズに操作できるか。

⚠ 注　意

● 開閉は、扉の中央部を持って行う。

扉の上側や下側を持って開閉を行うと、扉が変形し破損するおそれがあります。

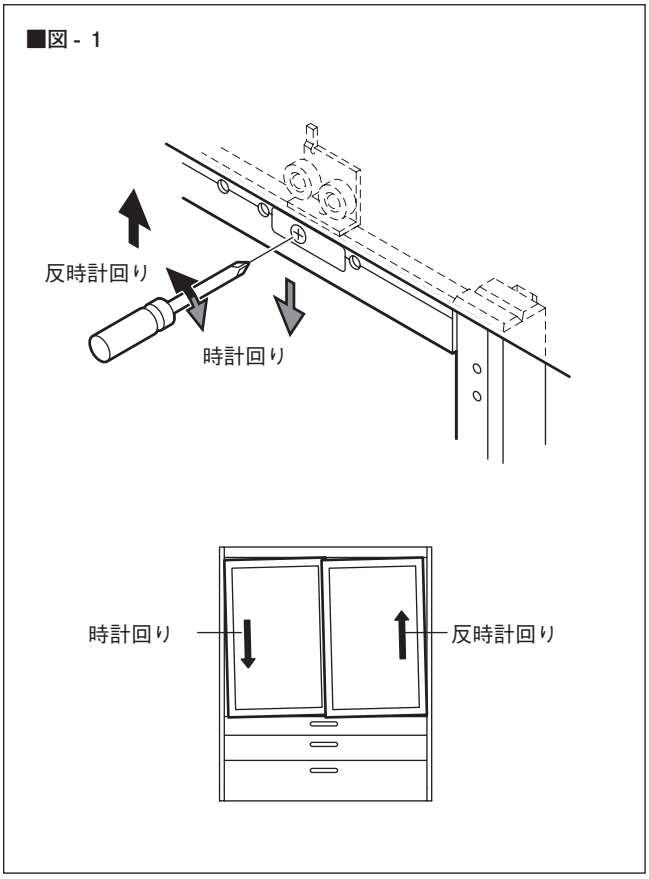


扉の調整方法（上下・傾きの調整)(図－１)

左右扉上部裏側の傾き調整ねじを回して扉の傾き調整を行ってください。

時計回し：扉の外側が下がる
反時計回し：扉の外側が上がる

※扉上下調整時の注意
・調整を行う際には、電動ドリルは使用しないでください。
・扉を 10 ㎜以上、下げると扉が落下する危険があるので限度を超えた調整を行わないでください。



⚠ 注　意

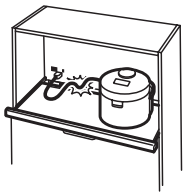
● 調整ねじを回しすぎない。

無理に回すと破損の原因になります。

家電収納フロアキャビネット・家電収納トールについて

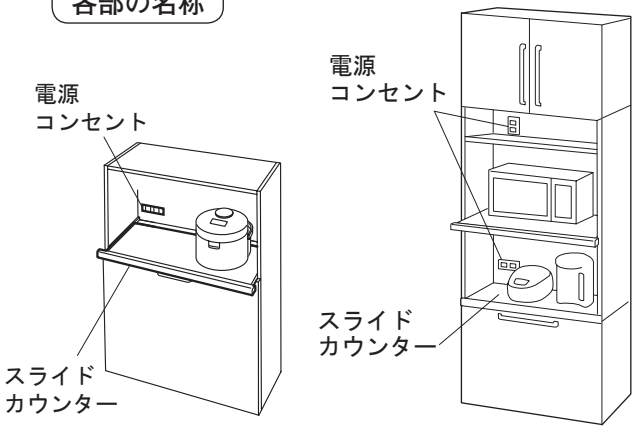
⚠ 警　告

● スライドカウンターを出し入れする際は、家電品の電源コードを挟み込まない。



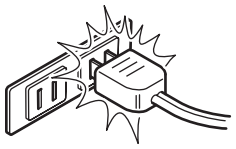
電源コードが断線し、漏電や火災の危険があります。

各部の名称



⚠ 警　告

● 家電品の電源プラグは確実に差し込んで使用する。



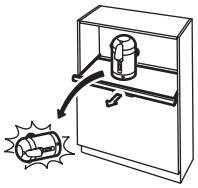
漏電や、火災の危険があります。

● 電源コンセントには 1 口で 1480W を超える電気器具を使わない。

火災のおそれがあります。

⚠ 注　意

● スライドカウンターを出し入れする際は、ゆっくり行う。



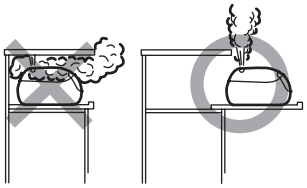
家電品が転倒・落下し、けがややけどをする危険があります。

● スライドカウンターに、20kg 以上の物を載せない。
スライドカウンターに、乗ったり、ぶらさがったりしない。

けがのおそれがあります。

お　願　い

● 家電収納フロアキャビネット・家電収納トールで炊飯器を使用するときは必ずスライドカウンターを引き出して使用してください。

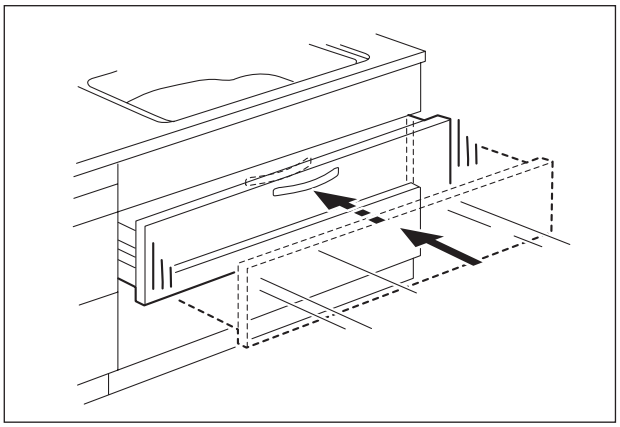


スライドカウンターを押し込んだまま炊飯しますと、キャビネット内に水滴が付き、割れ、フクレ等が発生するおそれがあります。

● 家電収納フロアキャビネット・家電収納トール、フロアキャビネットなどの上に電子レンジ等を設置する場合は、各機器の取扱説明書に記載された設置スペースを確保してください。

ソフトスライド機能付の引き出し

引き出しを閉めると、閉まる手前で衝撃を吸収して静かに閉まります。引き出しの重さや開閉スピード、レール長さにより効果は異なります。引き出しを閉める際は、指などを挟まないように注意してください。



お　願　い

● 引き出しを急激に開閉しないでください。

引き出しや引き出し内の収納物が破損するおそれがあります。また、ソフトスライド機能の故障の原因となるおそれがあります。

シンク前包丁差しについて

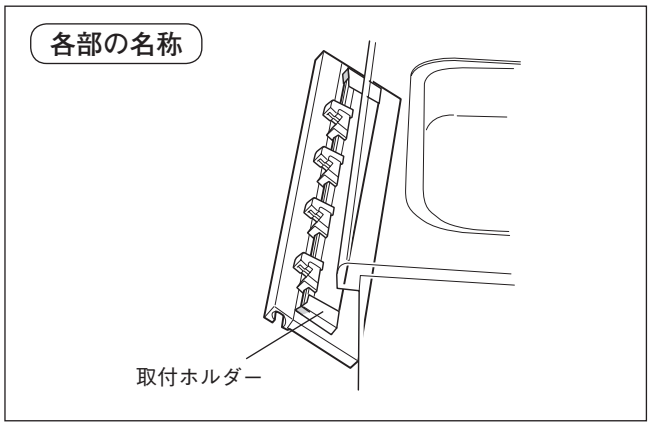
シンク前包丁差し付き扉は、開閉時、ゆっくり開閉する機能を備えております。

お　願　い

● シンク前包丁差し付き扉を無理に強く開けたり閉めたりしないでください。

扉および機構部が破損するおそれがあります。

包丁は水分をおとしてから収納してください。
※ 刃長 17cm、柄長 13cm、刃厚 5mm までの三徳包丁の場合、4 本（幅 75cm キャビネットの場合 3 本）まで収納できます。

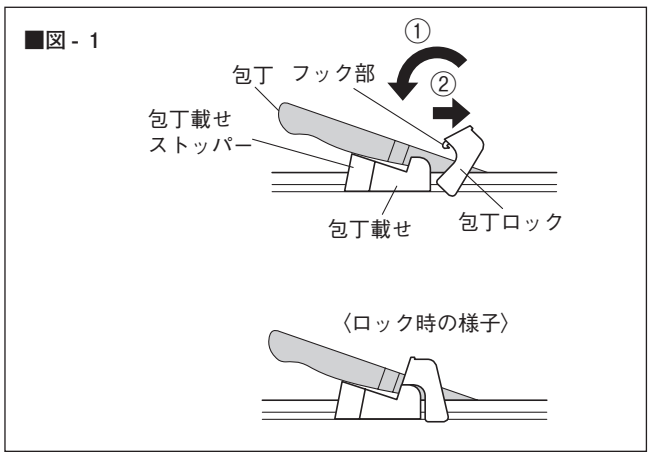


包丁差しのロック方法（図－1）

① 包丁ロック上部を包丁載せ方向へ回転させながら持ち上げ、包丁載せにかぶせる。
② 包丁ロックを包丁載せと逆方向にスライドさせ、フック部を包丁載せに引っかける。

包丁差しのロック解除方法

ロック方法と逆の手順で行ってください。



シンク前包丁差しについて

包丁差しを取り外す場合（図－２）

① 収納している包丁やナイフを取り外してください。
② 固定ツメを外方向に押し込みながら、包丁差しを上に持ち上げて取付ホルダーから外してください。

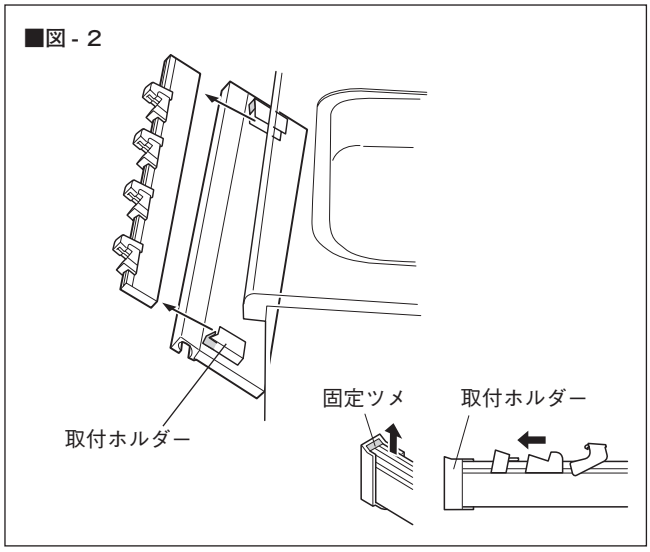
包丁差しを取り付ける場合

取り外す場合と逆の手順で行ってください。

⚠ 注　意

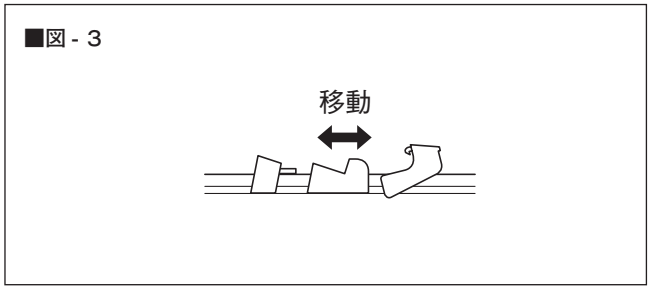
- 包丁を収納した状態で包丁差しを取り外し、取り付けしない。
- 包丁差しを取り付ける際、ゆるみ・ガタがないように確実に取付ホルダーに取り付ける。

包丁が落下してケガをするおそれがあります。



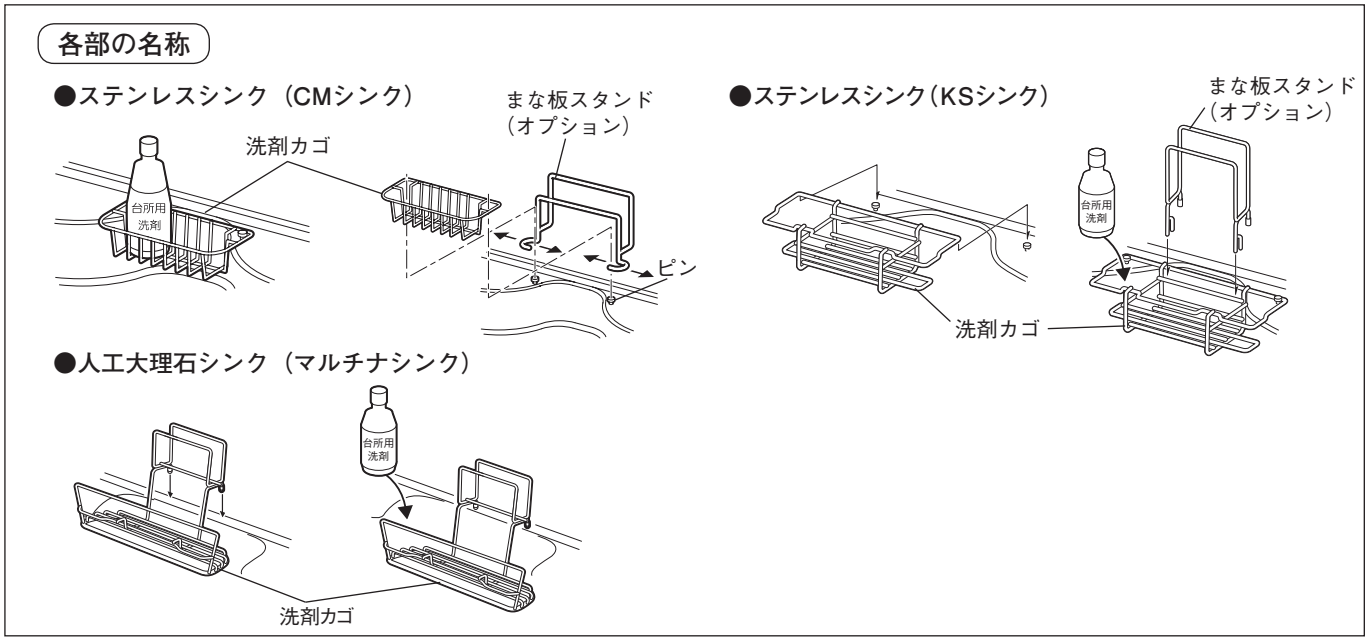
包丁ガイドの位置を変える場合（図－３）

① 収納している包丁やナイフを取り外してください。
② 包丁載せストッパー、包丁載せ、包丁ロックをそれぞれお好みの位置へスライドさせてください
③ スライド後、包丁載せストッパーを包丁載せへ、しっかりと差し込んでください。



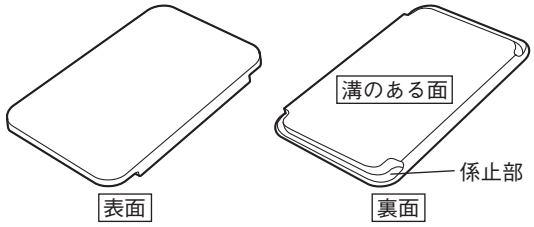
洗剤カゴについて

脱着の出来る洗剤カゴがついています。洗剤の置き場等にご使用ください。
まな板スタンド（オプション）がある場合は、洗剤カゴに取り付けてください。

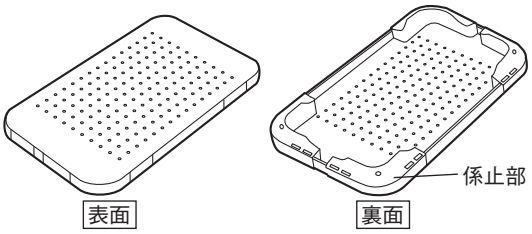


マルチナまな板・マルチナ水切りについて（オプション）

マルチナシンクの上下・左右中央で自由にお使い頂けます。



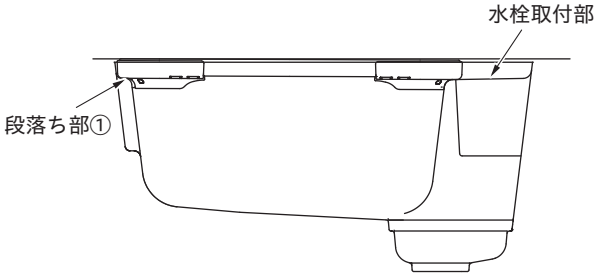
マルチナまな板



マルチナ水切り

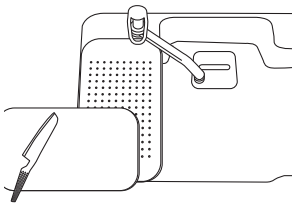
●上段でご使用の場合

シンク左右手前の段落ち部①と奥側の水栓取付部にマルチナまな板またはマルチナ水切りの裏面の係止部を合わせるように設置してください。



⚠ 注　意

●マルチナ水切りにまな板を渡して使用する際は、安定する位置で使用する。

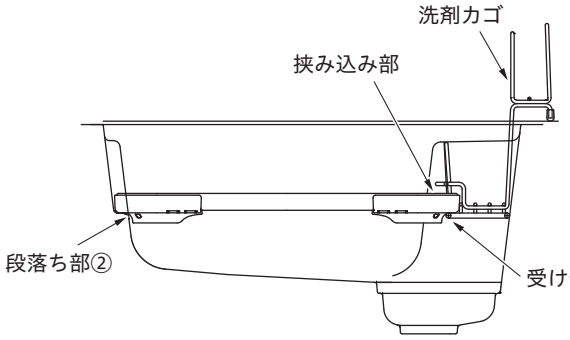


まな板がずれてけがをするおそれがあります。

●下段でご使用の場合

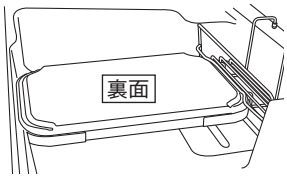
シンク中央手前の段落ち部②と奥側に配置した洗剤カゴの受け部にマルチナまな板またはマルチナ水切りの裏面の係止部を合わせるように設置してください。

また、マルチナ水切りを下に配置し、マルチナまな板の裏面を上にして洗剤カゴの挟み込み部に差し込むようにしてマルチナ水切りの上に重ねることで、硬い野菜などを切るのにもご使用頂けます。

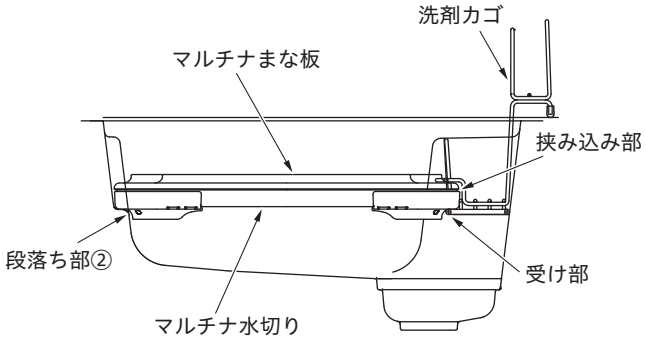


⚠ 注　意

●マルチナシンク下段で力を入れて食材を切る場合は、付属のマルチナ水切りの上に必ずマルチナまな板を裏向きに挟み込み部に確実に差し込み安定した状態で作業する。

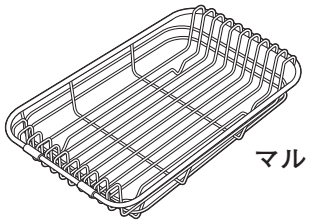


まな板がずれてけがをするおそれがあります。



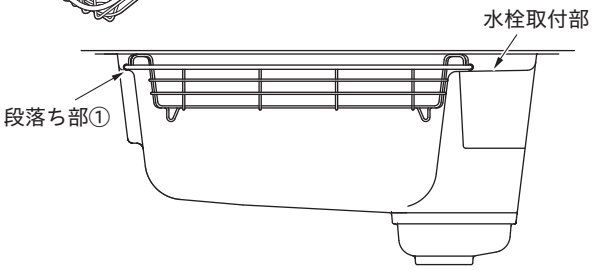
マルチナバスケットについて（オプション）

マルチナシンクの上下・左右中央で自由にお使い頂けます。



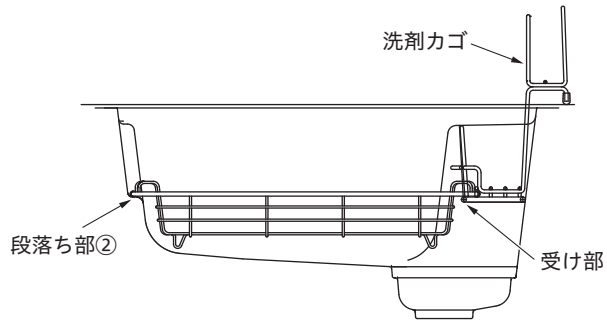
●上段でご使用の場合

シンク左右手前の段落ち部①と奥側の水栓取付部にマルチナバスケットを設置してください。



●下段でご使用の場合

シンク中央手前の段落ち部②と奥側に配置した洗剤カゴの受け部にマルチナバスケットを設置してください。



⚠ 注　意

●マルチナ（まな板・水切り・バスケット）をキャビネット内に収納する際には乾燥させてから収納する。

濡れたまま収納すると、扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

5．お手入れ方法

- 汚れはお手入れが早いほど、簡単に落ちます。
  こまめなお手入れがきれいにお使いいただける秘訣です。
- 下記以外の機器のお手入れについては、それぞれの機器に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

ステンレスシンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。

台所用中性洗剤

人工大理石シンク

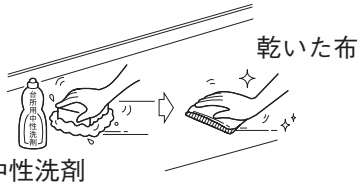
毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後に乾いた布で水分を良く吸い取ってください。

台所用中性洗剤

ステンレスワークトップ

使用後はよく、水洗いし、乾いた布等で拭きとってください。

塩分や油脂分の汚れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。



人工大理石ワークトップ

日常のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で水洗いまたは、台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後に乾いた布で水分を良く吸い取ってください。

台所用
中性洗剤

メラミンカウンター・扉・キャビネット・引き出しトレー・キッチンパネル

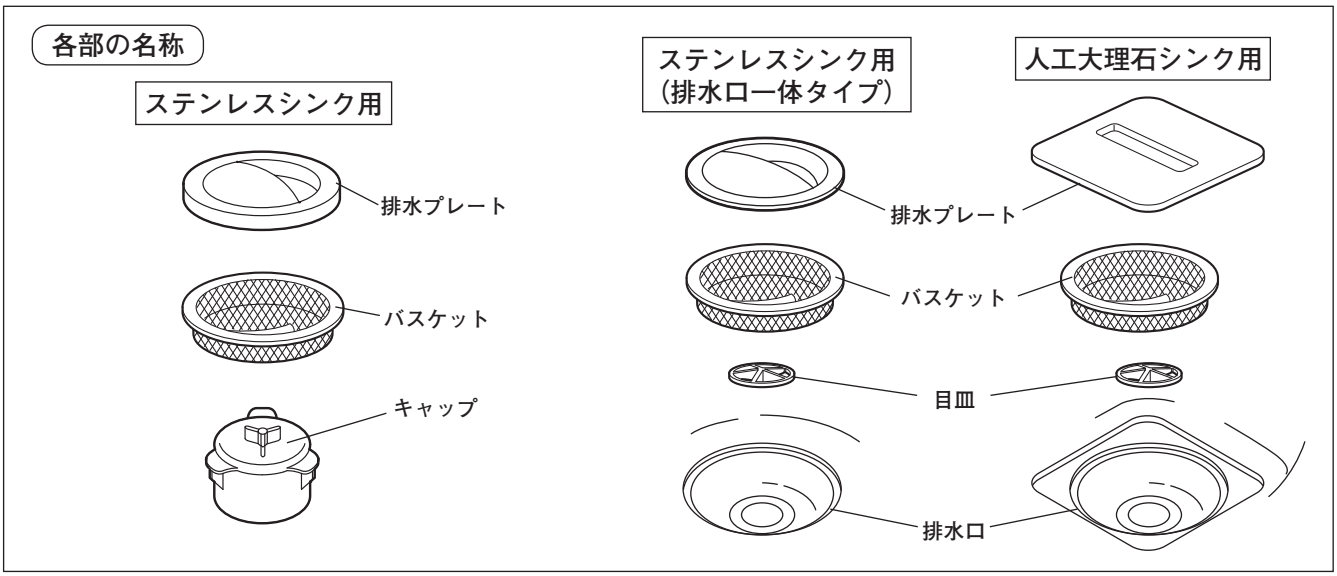
- 軽い汚れは柔かい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭きとってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。放置すると扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

お　願　い

- クレンザー、硬いタワシなどは扉に傷をつけますので、使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、変質の原因になりますので使用しないでください。

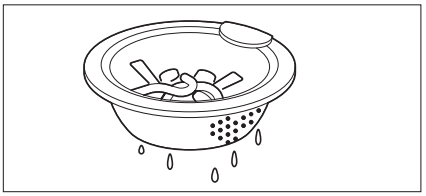
排水トラップ

週１回程度、排水プレート、バスケット、目皿、及び排水口内部の汚れを、ぬるま湯または、台所用中性洗剤で落としてください。



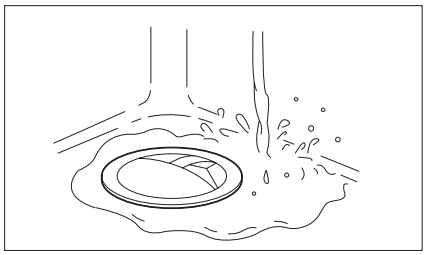
調理くずがたまった場合

バスケットを取り出し、水気を切ってから、中のくずを捨てます。
くずをためすぎると、臭いの元になるばかりでなく、水の流れも悪くなります。



水槽に水をためる場合

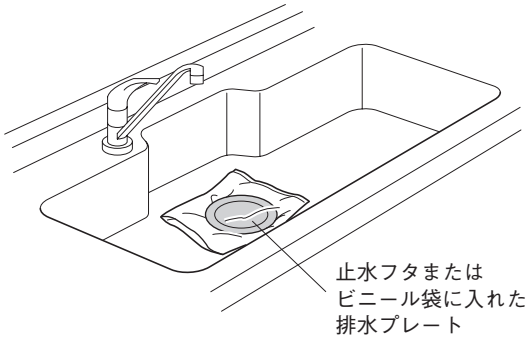
排水プレートを外してフタをセットします。※ステンレスシンクのみ（フタはオプション品です。）



お　願　い

● フタは完全水密ではありませんので、ためた水が少しずつ減っていく事があります。また、蛇口を閉め忘れたまま水をためますと、シンクより水があふれますのでご注意ください。

長期間ご使用にならない場合はシンク内の水気をふき取り、封水が切れないように止水フタまたはビニール袋に入れた排水プレートを取付けてください。
封水が切れると排水管から異臭が上がったり、浄化槽の消毒用塩素ガス等でシンクや金属部品がサビるおそれがあります。

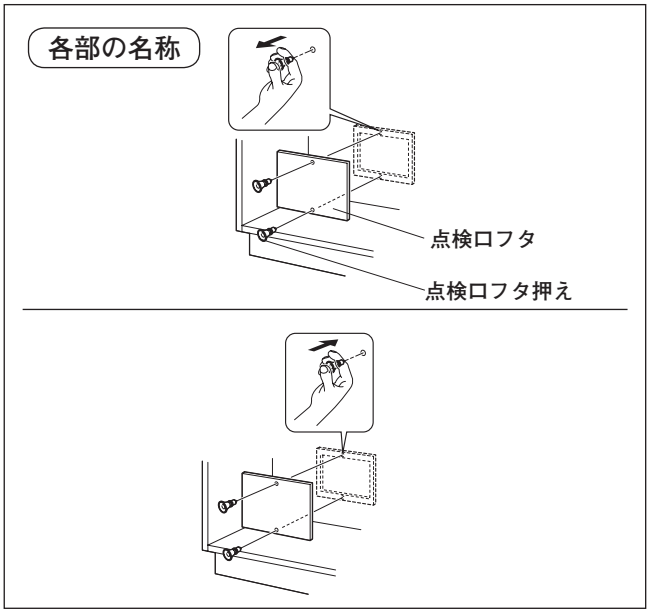


コンロキャビネット

点検口フタの取り外し、取り付け方法

①取り外し方法
キャビネット背面の点検口フタ押えを引き抜き、点検口フタを取り外してください。

②取り付け方法
点検口フタの取付穴とコンロキャビネット背面の取付け穴位置をあわせて、点検口フタ押えを上下２ヶ所に押し込んで取り付けてください。
取り付けた後、点検口フタが外れないことを確認してください。



6．仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
製造企業名	株式会社ハウステック
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	ＰＢ　F☆☆☆☆ ＭＤＦ　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.housetec.co.jp

7．定期的な点検

●水受けトレー・水受け容器の点検

ホース収納タイプのシャワー水栓をご使用の場合（水受けトレー不要タイプは除く）、キャビネット背面には水受けトレーまたは水受け容器が設置されています。水受けトレーに溜まった水を定期的に捨ててください。長期間放置すると水受けトレーより水があふれるおそれがあります。

⚠ 注　意

● 給湯管及び湯側の止水栓に手をふれない。
高温のため、やけどをするおそれがあります。

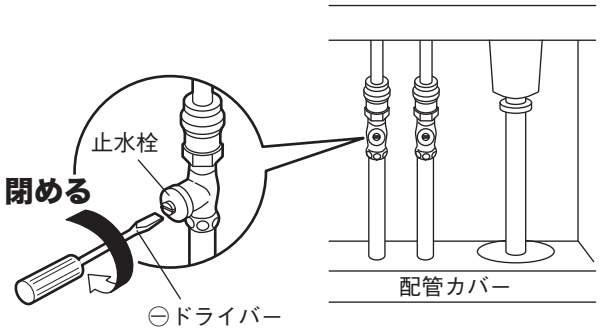
●水漏れ点検（月に一度）

① スライド収納タイプの場合はシンク下の引き出しを取り外してください。
・取り外し方はＰ９ページを参照してください。

② 配管まわりに水漏れがないか確認してください。
・水栓金具、排水金具、キャビネットの内部、配管カバーの内部など十分に確かめてください。

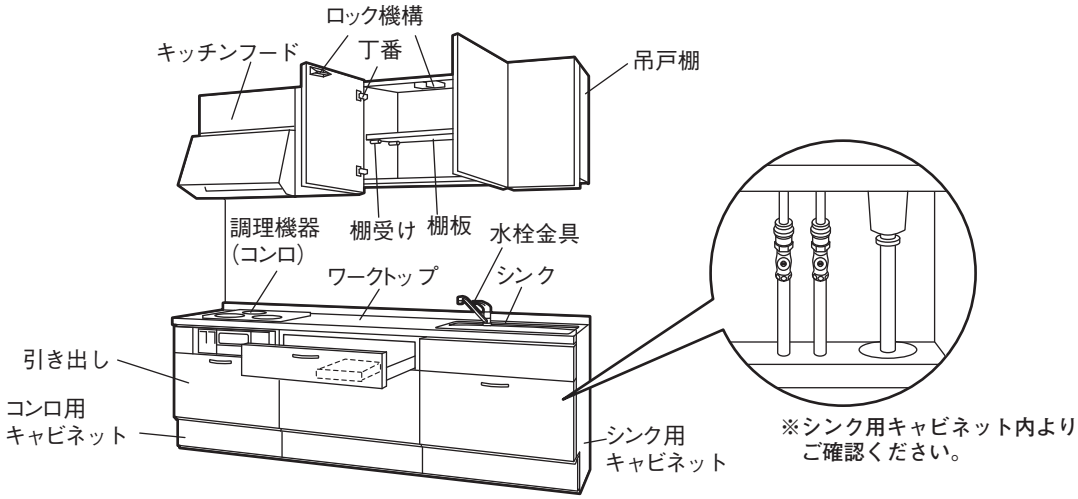
③ シンクの裏側やキャビネット内に結露がないか確認してください。
・結露がおきていた場合はよく拭き取ったあと、扉や引き出しを開けて風通しをよくしてください。結露を放置するとカビが発生するおそれがあります。

水漏れしている場合
止水栓または元栓を閉めてください。



●キッチン全体の点検（年に一度）

製品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。
経年劣化による重大事故を防止し、製品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を毎年1回は実施いただきますよう、お願い致します。



7．定期的な点検（続き）

点検部位	点検していただくところ	現象	予測される損害
ワークトップ	①シンク周り、調理機器周り	ワークトップのひび割れや欠け	・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形 ・破損部への接触によるけが
キャビネット	②包丁差しの固定ねじのゆるみ	包丁差しがガタガタする	・包丁落下によるけが
	③丁番のねじ、引き出し前板の調整ねじのゆるみ	扉・引き出しがガタガタする	・扉の脱落などによるけが
	④吊戸棚の変形、丁番のねじのゆるみ	吊戸棚の破損や扉がガタガタする	・収納物の落下によるけが ・扉の脱落などによるけが
	⑤吊戸棚の棚受けの差し込み、棚板への積載重量	棚板の変形・反り、棚板がガタガタする	・収納物の落下によるけが
	⑥金属メッキ部	取っ手などの金属メッキ部にはがれがある	・はがれたメッキによるけが
	⑦プラスワンカウンター裏面ネジのゆるみ	ロックがかからない	・収納物の落下によるけが ・カウンターの脱落などによるけが
水栓金具	⑧吐水レバー	レバーの動きが悪い、ガタガタする	・レバー破損による水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
	⑨水栓配管接続部	水栓配管接続部からの水漏れがある	・異臭や水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
排水部品	⑩排水部品接続部	排水部品接続部からの水漏れがある	・異臭や水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
	⑪排水部品、排水部品接続部	排水部品の損傷	・異臭や水漏れ　・床の腐敗

■組み込まれる機器、水栓金具などはそれぞれの取扱説明書を確認してください。
■以上のことをお調べになり、具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

8．保障・点検・修理のご案内

保証と保証期間について

- このシステムキッチンには、無料修理保証書がついています。
  本体・組み込み機器それぞれの保証書を確認してください。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
  記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中でも有料になることがありますので．ご了承ください。
  （保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください）
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- システムキッチンが正常に作動しないときは、30～31ページの「定期的な点検」をご覧ください。
  それでも正常に作動しないときはすぐに使用を中止し、32ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
  ① ご住所、お名前、電話番号
  ② 型式名：キャビネット内側に貼付してあるキャビネット銘板に記載されています。
  ③ 現象：できるだけ詳しくお知らせください。
  ④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

部品の最低保有期限

- 当社は、このシステムキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低７年間保有しています。
  但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 代替品対応部品：扉・引き出し等の面材に関しては長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、同等代替品での対応となる場合があります。

廃棄処分について

- 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

9. お問い合わせ窓口

●お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）	修理のご用命は	補修部品のご購入は（代引き販売窓口）
個人のお客様 **0120-801-761** ※携帯電話の場合 **0570-001-761**（有料） 販売・施工など業者様 **0570-071-761**（有料） ●受付時間　平日 9:00～17:00（12:00～13:00を除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	個人のお客様 **0120-102-471** ※携帯電話の場合 **0570-002-471**（有料） 販売・施工など業者様 **0570-022-471**（有料） ●受付時間　365日　24時間 （修理訪問は日中、地域により休日あり）	個人のお客様 **0120-455-621** ※携帯電話の場合 **0570-002-621**（有料） 販売・施工など業者様 **0570-022-350**（有料） ●受付時間　平日 9:00～17:00（12:00～13:00を除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

10. 保証書

無料修理保証書

品　名	システムキッチン		※ 型式
保証期間	本体：　1　年　間	※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	お名前：　様	TEL：	（　）
	ご住所：		
※販売店	住所・店名：	TEL：	（　）

見本

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。　本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in japan

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をおこなうことを、お約束するものです。尚、本体組込機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証に関する書面に従います。

上記の保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧の窓口にご依頼のうえ、本書をご提示ください。保証期間のお買上日は、改修の場合は、改修部分の設置完了の日、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築主様に引き渡しされた日とします。

1. 保証期間中であっても次のような場合には適用を除外し、有償修理とさせていただきます。
   1) 保証書のご提示がない場合。
   2) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   3) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの。
   4) 仕上げのキズなどで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
   5) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
   6) お買い上げ後の設置場所の移動、分解等による故障及び損傷。
   7) 取付・設置の不注意、過失による故障及び損傷。
   8) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常水圧及び燃料、給水の供給事情による故障及び損傷ならびに自然消耗。
   9) ねずみなどの動物や昆虫などによる故障及び損傷。
   10) 温泉水・井戸水など水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を使用したことによる故障及び損傷。
   11) 指定規格以外の条件（電源・水圧・水質など）による故障および損傷。
   12) 消耗部品（電球・グローランプ・パッキンなど）の消耗による故障および損傷。
   13) 商品、部品の経年変化または使用に伴う磨耗など。（たとえば扉塗装の色あせ、木製品の反り、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など）
   14) 一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   15) 維持管理の不備による水漏れ、膨れ、汚れ、さび、給水管、排水管の詰まりなどの不具合。
   （例）・ヌメリ取り剤使用によるシンクのさびや水漏れ
   ・清掃不足による水垢固着　・水濡れ放置による扉の膨れなど
   16) 第三者による管理上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合。
   （例）・ハウスクリーニング業者が指定以外の洗浄剤使用によるシンク、扉、塗装面などの変色や腐食など
   17) 故障の原因が本機以外にある場合。
   18) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
   19) 展示品を転売された場合。
   20) 日本国外でご使用された場合
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後は、修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎていると、修理できない場合があります。※修理料金：部品代＋技術料＋出張料

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 **www.housetec.co.jp**

L34T0622VB